

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 調査事件

(1) 駒場通の早期整備について

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、9月11日の常任委員会において調査を実施することが確認されている。議会運営委員会申合せにおいて、陳情の調査にあたっては、その願意でなく、願意を踏まえて、当該陳情に記載のある事務や事案について調査を行うことが確認されている。また駒場通については、陳情書に地図や現地の写真が添付され、その概況は承知しているところである。
- ・ そこで本日の進め方だが、まず、整備に関わる状況について理事者から説明を聞くこととし、その後、今後の調査について皆様と協議してまいりたいと考えている。そのような進め方でよろしいか。（異議なし）
- ・ それでは理事者の入室を求める。

（土木部 入室）

○委員長（山口 勝彦）

- ・ それでは、駒場通の整備に関わり、現状とこれまでの経過について説明をお願いします。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ まず資料をお配りしたい。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 委員の皆さんにお伺いするが、ただいま土木部より資料配付したいとの申し出があったが、資料の配付をしてもよろしいか。（異議なし）
- ・ それでは、事務局に配付させるので、しばらくお待ち願う。

（資料配付：駒場通の未整備区間について）

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ それでは私のほうから駒場通の未整備区間について資料に基づいて説明をしたいと思う。A3、2枚になっているが、1枚目が概要等で2枚目が周辺の状況等の図面関係、写真関係である。1枚目に基づいて説明させていただく。
- ・ 資料説明：駒場通の未整備区間について（土木部調製）

○委員長（山口 勝彦）

- ・ お聞きのとおりである。
- ・ ただいまの説明などについて各委員から御発言あるか。

○工藤 恵美委員

- ・ 丁寧に説明していただき、現状のことがよく分かった。

- ・ 土木部から長年この場所の整備ができていない中で、要望書、陳情が届いたということは大変深く重く受け止めているという発言があったので、それについてもよく分かった。
- ・ 私もよく通る道であるので現状が分かるが、通行量もかなり多いということも分かった。ただ、函館市内走っていると道路が悪い状態というか、なかなか冬が過ぎれば道路の傷みが激しかったりとか、それから細くなったり太くなったりと未整備の道路があるんだなということとはよく分かる。
- ・ それでまずお聞きしたいのは、函館市内で計画道路の状況と未整備の道路の状況、どのくらいあるのかお聞かせ願う。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 計画されている都市計画道路というのは106路線が市内にある。そのうち整備が完了している路線は78路線となっており、今現在事業中の3路線と合わせて81路線が事業中もしくは整備完了となっている。よって残りの25路線が全区間もしくは一部区間が未着手となっており、そのうち25路線のうち一部区間未着手が20路線、駒場通もこれ含まれるが20路線、整備区間未着手、全く手をつけていない路線が5路線ということで、25路線が全区間もしくは一部区間が未着手となっているという状況である。

○工藤 恵美委員

- ・ 状況がよく分かった。
- ・ 私は山の手なんだが、確か山の手にも計画道路があって、そういえばあそこもずっとあのままだなあと今感じていたけれども、市としても6番の考え方のところで、財政面を踏まえながら未整備路線との優先順位を勘案して判断するということで、前向きに考えていらっしゃるということも分かったので、私としては——うちの会派とも道路に関しては話し合って、本当に未整備のところがあると。ましてここは昭和4年に計画道路されたということで驚いているが、御答弁いただいたとおり、まだまだ本当にたくさんの整備しなければならない道路もあるということも踏まえて、うちとしては今後の道路整備の未整備道路の推移を見守っていききたいなと思うので、調査はこれで終了していいのかなと思っている。

○池亀 睦子委員

- ・ 委員長が聞いてない。

○工藤 恵美委員

- ・ 聞いてない。質問だけで終わる。

○板倉 一幸委員

- ・ この間の経過については今御説明をいただいた。今、工藤委員おっしゃってたけれども、皆さんよく通られる道路だというふうに思うが、一部区間だけ本当にその狭隘なところで、いただいた資料でも10年間で4件の人身事故とその他に物損というか、陳情書に出ているような塀とかああいいうところにぶつかってというような事故が何件か起きているというようなお話もあった。御存じだというふうに思う。
- ・ そういう意味では整備が必要な区間だという認識をお持ちだと思うが、特に朝は1時間あたり360台通るということだから、できるだけやっぱり早く整備をすべきだというふうに思うし、立地適正化計画なども考えると、住宅が張りついている場所というか住居があるそういった場所を、都

市計画道路であるならば、なおさら早期の整備が必要だというふうに思っているわけである。

- ・ この間もいろいろと要望いただいて、土木部としてどういうふうにできるかというようなことも考えるというかやってこられたと思うが、その辺の経過というのは、実際に今まではここに書いているとおり、財政上の問題から全くできないと、その時点ではできないというふうに考えられたのか、あるいはそういう要望にしたがって何とかやってみようとしたけれども現実的になかなか手がつかなかったのか、その辺のところはどうなのか。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 今現在の都市計画道路事業は、日吉中央通という路線が当時令和6年までの予定だったが、国からの財源上の制約もあり、今3年延伸して令和9年までというところもあるし、またその前までは御存じのとおり昭和団地通、神山も事業が続いていたし、財源的に複数路線やって今1本で集中させて日吉中央通ということをやまずは完成まで早くということで、これまで進めていた。その見通しが今後立ってくると、次、当然、どこやるんだとか、優先順位どうなんだとかという議論を、今段階ではまず日吉中央通のところに全力を注いでいるというような状況であって、正直なところこれまで他の路線というのは具体的にどこをやりたいだとかということは、今現在、実は話をしていないという実情である。

○板倉 一幸委員

- ・ 詳しくお話を伺ってないが、お聞きしたら、例えばそこに新しく家を建てられる方もいらっしゃるというふうに思うが、その方々は道路ができる、将来拡幅になるというようなことを見越して、少し道路側の土地を残して家を建てられているとか、あるいは古い、そこにもう前からいらっしゃる方は、なかなか家を建て直さない限りは現状のままということなんだろうけど、そういうようなことをされている方もいらっしゃると、こういうふうにお聞きしているが、市としては、土木部としては、そういう相談があったときに、都市計画道路だから将来拡幅する、整備すると、そういう予定がいつになるかは別にしても、予定があるからこうしてほしいとかというようなその相談には、この間、現実的に乗っていらしたのか。

○土木部次長（春山 英之）

- ・ 全て押さえ切れているわけではないけれども、駒場通は延長が短いせいもあって、この10年ぐらいの間には特に相談はなかったと思うが、他の都市計画道路全てで同じだが、やっぱり相談は家を建てたい買いたいとあるけれども、やはり事業の着手のめどが立って、事業認可という国の認可を取るのだが、それまでの間はいつやれるかというのが分からないものだから、特に家を建てないでくださいとか、バックしてくださいというお願いは逆にできないような状況となっている。ただ、御本人さんの御意向で、建ててすぐに道路が来てまた移転になるとかというのを嫌って下げてくれている方もいるのが現状だと思っている。

○板倉 一幸委員

- ・ 分かった。
- ・ 都市計画道路であるということは、多分お住まいになってる皆さんはお分かりになっていて、都市計画道路だからいずれ、要はこの360メートル以外のところはそれぞれ整備終わって一定の道路幅になっているわけだから、この間だけいつかはなるんだろうというような予測はきっとされて

いるんだろうなというふうに思う。

- ・ 市としても重く受け止めているというようなお話があったが、先ほどの答弁でもまだ整備中というか、事業着手中の道路があって、そのところが終わらなければというようなお話があったが、ここでいつというお話は多分できないだろうというふうに思うが、今先ほどおっしゃったような、例えば日吉の道路を今重点的にやっているが、それが終わると、次どこをやっていくかというような計画はもうすでに土木部内では持っているのか。それとも令和9年だからあと3年くらいの間に、次はどうするかということを決めることになるのか。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 先ほど申した話は、日吉中央通を今現在やっていることで早期にということで、内々に部内では当然議論というのは、次、令和9年に終わる予定だから、終わってからとなるとまた間も空くので、どこかの時点で重ねて事業継続させたいという思いは当然あるが、財源的な話も当然なってくるし、庁内協議というのもまだ実はされていない状態で、仮にやるとすれば前段の御説明でも申し上げたとおり、立地適正化計画、都市機能誘導区域になっているので、駒場通の位置づけというのは非常にその中でも高いだろうなと、次期候補ぐらいの位置づけはあるんだろうなというふうな内部的なやりたい路線としての位置づけはある。庁内的には、まだ具体の話というのを現時点ではしていないので、今後この要望、陳情書を受けて内部で検討していくということになると思う。

○板倉 一幸委員

- ・ 昭和団地通も終わったし、一つ一つ次の新しい整備すべきところを手をつけていくというようなことが必要だというふうに思う。まだ一部未着手も20路線残っているという中でも、土地というか道路状況からするとかなり悪いところだから、これだけ狭い道路に通学路になっている道路、抜けていく車も結構いるから、そこはしっかり把握していただいて、把握していると思うから、そのことを受け止めていただいて、早期に整備を行うというようなことを要望しておきたいと思う。

○池亀 睦子委員

- ・ 資料もとても分かりやすく、説明を受けてよかったなというふうに今思っていたところであるが、私のほうからちょっと確認だが、この5番目の市長と時任町会間で市長との意見交換会のときに要望があったということで、これには土木部は出席されていたのか。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 事前に駒場通の話が出るという前提がなかったものだから、土木部は出席していないという状況である。

○池亀 睦子委員

- ・ どういうふうな要望があったかということは、この懇談会というのは市民部が所管だから、内容的には陳情、要望出ているけれども、その前にこういう話があって、市長がどのように答えていたよとかは聞いているのか。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 具体的には要望を受けて現状把握はしてるやに聞いているが、それに対する詳細の整備に関わるコメントとか今のところいただいていない。

○池亀 睦子委員

- ・ 都市計画道路ということでいずれは整備に着手ということで、ただ、今御説明あったように、多額の——土地の買収や今の物価高騰、資材の高騰、様々見ていかなくてはいけないと思うけれども、それにしても財政面をかなり考えなくてはいけないということで、これを全部整備しようとしたら、ざっくりといくらぐらいかかるのか。検討するには考えていらっしゃると思うが。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 駒場通という理解でよろしいか。未整備区間残り25路線全体という理解か、それとも今回の要望に関する駒場通の今未着手区間360メートルの事業費のどちらか。

○池亀 睦子委員

- ・ 要望、陳情書に沿っての質問なので。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 360メートル未着手区間の事業費は、我々詳細についてはまだ調査してないので具体的な数字をはっきり言うことはできないけれども、といいつつも事業費で今試算しているところだと、10億円は超してくるだろうと。15億円までかからない、13億円程度でなかろうかと。ただ、これは調査してみないとどの物件がどれだけかかってという算出になるので、具体的な数字が言えないが、経験上、大体13億円、今時点の物価等々で考えると13億円程度はかかるんだろうなというふうに考えている。

○池亀 睦子委員

- ・ それなりのやはり金額だ。なんで聞いたかという、やっぱりその都度、美原の交差点のことだ日吉町、新外環とかに合わせて、また人の流れ、車の流れ、そういうところを都市計画とはいえ優先度を決めながら整備を進めてきたと思うので、ある程度は概算は出ているんじゃないかなというふうに思ったので伺った。分かった。
- ・ この陳情、要望を受けて、部局内でまずこれから検討に入っていくことになるのか。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 先ほど板倉委員からの質問に答弁したとおり、今後協議はしていくということになる。その前にまだ我々、ある程度は前段での調査というのはしているが、これからもうちょっと不足部分を積み上げて、内部の協議というふうになるので、今後どのスピード感でというのは、なかなか今のところ申し上げられないけれども、今後それを踏まえて協議していくということになる。

○池亀 睦子委員

- ・ 分かった。
- ・ もうちょっと聞きたいけれども、ちょっと答弁大変そうなので。しっかり受け止めてテーブルに乗せていくよという。しかし、いつから取り組むかということは、今まだ言えないという、そういうところなのかなということを確認させていただいた。

○荒木 明美委員

- ・ 2点確認をさせていただきたいと思う。一つは3番の②のところで消防車や救急車などの緊急車両が通行しにくくとあるので、通行できないわけではなくて、狭いので通りにくいということかなというふうに受け止めたが、未整備は25路線あるという中で、例えば、救急車も消防車も通れないようなそういう狭さが課題になっているのか、他の25路線というのは何が今課題になっているのか

というのを教えていただきたいと思う。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 25路線のうち詳細について今資料がないので具体的なこと言えないが、いろんなケースがあって、現道があって狭いので拡幅という路線もあるし、全く道路がないところに道路を造っていくというところもあって、1本ずつ今具体的な資料がないのでちょっと説明はできないが、あくまでもこれは前段消防のほうにも内容を確認していて、駒場通で申し上げると今の現状、どういう状況になっているかという確認を实はした。回答は、通らないことはないけどそのときの状況——例えばどの位置でなったとか周りの状況によってその道路をそのとき通るかどうか判断すると。今現在そこを通られないという事情にはなっていないということで報告は受けている。

○荒木 明美委員

- ・ 様々なケースがあるということが分かったが、まさにそれを求めていたというか。となると、いろんなケースがある中で、最後に書いてあるこの優先順位を勘案してと言ったときに、例えば25か所がどこも救急車が通れないということでもなくて、道路がなかったりなんだりという、いろんなケースがあるということなので、ここでいう優先順位というのはどんな項目が上がってくるのか、もしお答えいただけるようなら願います。

○土木部道路建設課長（荒谷 哲次）

- ・ 優先順位を決めるときには、道路の地域というかその特性、土地利用等も当然あるし、今回の駒場通でいくと中心市街地、交通量も多くてという事情もある。都市計画道路は一つのものを目的とするのではなく、例えば交通渋滞だとか都市空間だとか、あとは交通安全だとかいろんな状況で優先順位が決められて、それぞれの指標が当然あって、例えば今回の今の質問のケースでいくと緊急車両だとかということも一つの要素ではあるけど、いろんなものを積み上げて、その必要性を総合的に判断するというのが基本の決め方なので、今具体的にそこまで全路線を精査してそこだよというような具体のものというのはまだ積み上がっていない状態なので、ただ先ほど優先順位が高いと言ったのは、位置づけ的にやはり中心市街地で立地適正化内であるということで、今時点で優先順位は高いんだろうなというふうに判断しているところである。

○荒木 明美委員

- ・ 分かった。交通安全だとか都市空間だとかいろんなそれぞれ指標があって、それぞれの指標で出てきた数値を多分積み上げて優先順位というのができるだろうと、ただ、今はそこまでやっているわけではないという理解でよろしいか。（「はい」の声あり）

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 発言を終結する。
- ・ 駒場通の現状や今後の整備の考え方について確認できた。土木部においては、お忙しい中、本委員会の調査に協力いただき感謝する。
- ・ 理事者は御退室願う。

（土木部 退室）

- ・ それでは、今後の本件の調査について協議する。
- ・ まず、駒場通の整備に関してだが、駒場通の整備の必要性を認識しているが、整備の着手に至ら

ない中で、今回、要望書や陳情書が出たことを重く受け止めている。市の財政状況を踏まえ、駒場通も含めた未整備路線の中から優先順位を勘案して、今後事業化を判断するといった状況であると、理事者から説明があったところである。これを踏まえ、当該道路の早期整備に関して、本日の理事者の説明を持って調査を終了する。本日の説明をもって調査は終了するが、理事者に対し本件に係る提言等を行う。今後も委員会で調査を行っていくのいずれか皆さんの意見を確認してまいりたいと思う。なお調査の結果を出す際には、議会運営委員会申合せにおいて、各会派の意向を明確に示すこととなっていることから、順次各会派の意見を確認してまいる。また、議会運営委員会申合せにより、調査終了後には陳情者に対し調査結果として、調査を行った委員会における発言の記録を送付することとなるので、御配慮の上御発言をお願いする。

○工藤 恵美委員

- ・ 非常に切ない問題で、本当に陳情を受けるとすぐにでもやってあげたい、整備するように提言していきたいと思うところだが、説明にもあったとおり、未整備の路線がまだまだあるということと、それから土木部が考える優先順位の考え方も御答弁いただいて分かったが、このまま土木部の考え方を尊重して、財政の問題ということなので、財政が豊かであればどんどん道路整備、函館市の道路悪いという印象も皆さんお持ちだし、パッチワーク道路だというのもよく皆さんの認識の中にあるわけだけれど、陳情が出てきたからここだけ先にというわけにもなかなかいかないという考え方も分かるので、まずは土木部の考え方が分かったので、この陳情に対する調査はこれで終了してもいいと思っている。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 提言はしないという形でいいか。

○工藤 恵美委員

- ・ はい。調査を終了する。

○板倉 一幸委員

- ・ 調査事件として取り上げていただき感謝する。
- ・ 今日の説明でもあったけれども、昭和46年それから昭和60年から平成4年、もう一つは昭和50年から52年と時期は少しばらばら離れているが、通常であれば都市計画道路だから順次整備を行っていくというような必要性があつて整備を始めたけれども、360メートルだけまだ残されているということで、その必要があつて整備始めたけどここだけ残っているというようなことを考えると、早期に整備が必要だというふうに思う。
- ・ 先ほどもちょっと質問の中でも申し上げたが、車の通行量、それから人身事故や物損事故、こういうものが起きているし、2枚目の地図を見てもお分かりになるように、白楊通から駒場通、電車通りのほうに向かっていくと白楊通でもまっすぐ直線しか実は行けない。途中で1か所右左に曲がる場所があるけれども、それ以外は一方通行で避けようがない、Uターンもできないということなので、交通事情からいっても残された区間360メートルだから早期に整備すべきものだというふうに思う。
- ・ 土木部の説明では日吉中央通の整備が令和9年までで、その終了前にはどこを次にやるかというようなことを計画を立てるということになるだろうし、優先順位というのはやっぱり結構高いとい

うようなことを土木部は認識をしていると、こういうようなことがあったので、私どもとしては、早期に整備を求めたいというふうに思うし、調査に関しては今日の説明でこの間の経過や市の考え方が分かったので、調査終了していただいても結構だというふうに思うが、市に対して委員会としても早期に整備を図るようという要望をしていただきたいというふうに思う。

○池亀 睦子委員

- ・ 大体同じようなことになるが、市の方で、土木部で都市計画道路の整備という必要性については十分認識をされているということをしかりと確認させていただいた。また、ざっくりでもやはり13億円という高額な金額というか、その辺を改めて数字として聞くと、やはり簡単に着手する、困っているなら、はいやりますということにはなかなかならないのかなというのは思ったが、質疑応答の中で、また説明の中でも、消防車、救急車、そして大型車、今は能登半島の雨の災害も見てとれるように何が起きてくるか分からないときに入っている。そういう意味でも、やはり市民の生命と財産を守るという視点でも、やっぱり道路の整備というのはしっかりやっていく中で市民の生命と財産を守っていく、そういうことにつながっていくのかなと思っているので、部局の思いはしっかり確認して、そして、市民の皆さん、この7町会の思いもまたしっかり受け止めてくださっているということも確認できたので、調査としてはこれで終わりということで、願います。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 提言しないということによろしいか。

○池亀 睦子委員

- ・ 提言はしない。

○紺谷 克孝委員

- ・ 今日の土木部の説明でほぼ分かったし、皆さんおっしゃったとおりだというふうに思う。
- ・ 先ほどの整備状況で、たくさん未整備がまだ残っているというふうに言われたけど、106ある路線のうち一部着手も含めて25路線が未着手になっているということで、大体4路線のうち1つぐらいはまだ未整備だという状況で、優先順位はここで公に言えないことはあると思うけれども、しかしお金の面も勘案しながら結構中でいろいろ詰めているということも分かるし、また、残っている路線の中で、我々はどれだけの路線が優先的かどうかというのは非常に判断しかねるし、もしかして駒場通よりももっと緊急性がある、そういう都市計画道路もあるかもしれないということで、そこは我々知ることができないので、ここだけを最優先という事になかなかないだろうというふうに思う。そういう点で各会派の意見はあるわけだが、私はここまで議会でも議論したという経過を踏まえれば、調査を終了するが、提言程度は行っているのではないかというふうに思って、終了するけれど委員会として提言したらどうかと思う。

○荒木 明美委員

- ・ 今日の土木部の説明を聞いて、歴史的なことも含めてこれまでの経過というのはよく分かった。残りが25路線あるということと、あとはそれぞれの道路の状況が異なるので、優先順位と言っても一つの何か項目で決められる話ではないということもよく分かった。
- ・ 紺谷委員がおっしゃったとおり、詳細のところは我々委員が判断できるような材料もないし、今日の話だけでは分からないので、土木部のほうで重く受け止めているということなので、また、優

先的に考えていただいているなということが感じられる発言もあったので、私としてはこれで調査を終了して、提言は今日の発言を聞いていれば優先的にやっていただけるということも分かったので、提言はなしでいいかなというふうに思う。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 一通りお伺いしたので、各会派の皆さんの意見を再確認したいと思う。
- ・ 新市政クラブは、調査終了、提言しないということで。民主・市民ネットさんは、調査を終了し、提言するという形で。それと公明党さんは、調査を終了し、提言しないということで。日本共産党さんは、調査を終了し、提言するというで。荒木委員は調査を終了し、提言しないという形でいただいた。
- ・ 提言するかどうか、委員が同数で割れており、各会派に持ち帰って協議するか・・・。

○紺谷 克孝委員

- ・ もう1回発言を求めればいいのか。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ もう一度発言求めているか。

○板倉 一幸委員

- ・ 調査終了は皆さん同じ考えだと思うから、そのところはそれでまずいいんだというふうに思う。
- ・ 私のほうから提言をすべきだというふうに申し上げたが、その考えは別にな変わってないが、市としてもそれぞれ関係町会からの陳情というか要望を受けて、大変重要だというような受け止めをされているということで、議会としていただいた陳情に対して、我々としてどう考えるかということだと思うから、例えばいついつまでにやるべきだとか、あるいは優先的にここからやれというようなことではないけれども、陳情者の意図をしんしゃくして、早期に着手してほしいと、こういうような提言というか、それはしてもいいのではないかなというふうに私は思う。

○池亀 睦子委員

- ・ 普通提言する場合は、しっかり調査をして、その上で提言してきていると思うんだけど、今日1回説明聞いただけで提言になるのか。提言というのはやはりそれなりに私は重く受け止めているので。

○工藤 恵美委員

- ・ 提言についてだが、7町会という多くの町会からの陳情であるので、重く受け止めたし、希望を叶えて差し上げたいという気持ちもある。ただ、この優先順位の考え方を土木部から聞いたけれど、25路線が残っていて1番から25番までどこの順位なのということになってしまうので、提言してしまうと。それはちょっと難しいのかなと思うし、もし後からまた違う路線のところから陳情が来て、通学路だから早くやるとか、何かそんなような陳情が出てきたら困るし、だから優先順位というとなかなか難しいよね、1番から25番まで考えなければならない、何番目がいいのということになってしまうので、ここは土木部の推移を見守りたいと思うけれど、いかがか。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 工藤委員の前に池亀委員から質問のあったことだが、それに関してお答えするが、提言をする場合には、今日の調査した中での提言にはなるということで御理解願いたい。

○池亀 睦子委員

- ・ 説明を受けたので調査ではあるのだが、でも1回聞いて提言ということには——現地を見たり、実際に様々な声を聞いたり、そういう調査をした上で提言するならいいが、説明を受けて土木部の考えをしっかりと確認できているので、これは提言するまでもなく、しっかりとやっていただけるなという、大体みんなそういう感触を得ているのに、あえて提言ということにはならないのかなと、私はそう思う。

○紺谷 克孝委員

- ・ 私も提言というふうに話したが、提言の中身がどのようなことになるかというのはなかなか難しいと思うし、工藤委員おっしゃったとおり、優先順位までつけてどうのこうのということであれば、なかなかそれはできないであろうと思う。それから池亀委員がおっしゃった、調査するということになるとどこまで調査すればいいかということ、もっと詳細にとなったら1軒1軒聞いて歩くような調査も調査になってしまうからね。
- ・ 私が思うのは、今日わざわざ土木部に来ていただいて議論したということで、土木部がもちろん行政が進めるに当たって中心になって進めていくことになるかと思うが、今日聞いた限りで非常に大事な都市計画道路だということは一致できると思うから、優先順位を変えれということではなくて、非常に大事な市街地の道路だということで、ぜひ財政が許す限り早期に着手してほしいという程度の軽い提言、今日聞いた限りの中での提言でいいのではないか。調査すると際限なく広がってしまから、そういうことで、軽い提言でいいのではないかというふうにちょっと思っていた。

○工藤 恵美委員

- ・ さらに陳情が来たら。優先順位上げたらいいのではないかと委員会で決めたとしたら。

○紺谷 克孝委員

- ・ それはその先の判断がまたあると思う。やっぱり町会や住民が要望していることについては、なるべく可能な限り手を差し伸べるような態度というのが必要でないかという気がする。

○池亀 睦子委員

- ・ それはだから調査にして、しっかり説明を聞いてという、それで市民の声に対して委員会としてもしっかり私は答えているなど。提言に重い軽いはないと思うので。しっかり部局の考えを確認したということで、これからは私たちはそれを見守り、後押ししていけばいいことではないのか。
- ・ 7町会の長い歴史、歴史と言ったら変だけど、長い経過の中での思いがあるので、説明を聞いて、はい提言というわけには逆にいかないのかなと私は思う。

○工藤 恵美委員

- ・ 陳情自体が重たいものであって、要望ではなくて、陳情になってきているわけだから、それに軽い提言でというのも、議会が応援してくれたから早くやれというような運動に変わっていくのも違う気がするので、陳情は重たいから、陳情に対してきちんと私たちの考え方を述べれば、提言がなくても大丈夫なのではないだろうか。
- ・ 皆委員の意見は早期に道路整備するべきだという考え方は変わらなかったように思うので、提言しなくもいいような気がしている。

○板倉 一幸委員

- ・ なかなかどうするか決まらないが、要は陳情だから、要望が出ていてそれをどうするかということとまた違って、陳情という形で議会に提出されて、それを当然市はお断りすることはないから受け取るわけだけれども、それを委員会として、こうして状況の説明を受けて調査したということだから、その陳情に対して委員会としてどうするかということだ。皆さんの話聞いても、できるだけ早く整備をしてあげたほうがいいということだから、そのことを市に対して提言というのか要望というのかそうすること自体何もおかしいことではないし、それ自体は委員会として調査してそういう結果だったということを市に申し上げるということは、何ら構わないことだというふうに思う。
- ・ 一回休憩しないか。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ ちょっと休憩にする。

午後２時４分休憩

午後２時25分再開

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 休憩前に引き続き議事を再開する。
- ・ 休憩前には様々議論したけれども、土木部が重く受け止めているということ、様々ある未整備の都市計画道路の中で優先度が高いものと捉えていることと、早期の整備を進めていくべきとの考えは委員会として一致していることから、正副としては調査を終了し、提言は行わないこととしたいと考える。

○斉藤 佐知子委員

- ・ 正副としては提言はしないということにしたけど、一応皆にそれでいいかと聞いてくださるというのではないかな。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 大変失礼した。
- ・ 再度確認する。正副の考えに皆さん御理解いただけるか。

○板倉 一幸委員

- ・ 私どもこの調査に関わって提言すべきと申し上げてきた。皆さんも早期に着手が必要だということとは一致できる内容で、市もそのように考えているということで、正副としてそういうふうに判断をされるということだからそのことについては了解した。ただ、ぜひこういう状況を早期に解消していくという努力を行政としてもしていくということが必要だということは、何かの機会にまた申し上げたいと思う。

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 皆さんよろしいか。（異議なし）
- ・ それでは本件の調査を終了し、次回定例会で調査報告する。本件の議会への報告文については、委員長に一任願いたいと思うが、御異議ないか。（異議なし）
- ・ その他本件について、各委員から御発言あるか。（なし）
- ・ 議題終結宣告

(2) これからの空き家対策について

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、9月11日の委員会で、先進的な取組を行っている都市について、正副で資料を調製し、それを基に協議することを確認している。
- ・ それでは、正副で調整した資料について説明する。まず資料の1ページ目を御覧願う。ここにはこれまでの調査での確認事項をまとめている。前回の委員会までに本市の空き家の状況やその対策の取組状況を確認し、本市の課題と調査のポイントを整理した。正副としては、これまでの調査を基に先進地の取組状況を勘案し、長崎県長崎市と福岡県北九州市を調査してはどうかと考えた。
- ・ 資料説明：これからの空き家対策について（経済建設常任委員会正副委員長調製）
- ・ 以上2市での取組は、本市のこれからの空き家対策を検討する上で、非常に参考になるものと考ええる。そこで、長崎市と北九州市において行政調査を行いたいと考えるが、いかがか。（異議なし）
- ・ 次に、調査の日程だが、11月5日から11月7日までの3日間としたいと思うが、いかがか。（異議なし）
- ・ 本件調査に関わる調査票については、先進地での取組を勘案し、その作成を正副に一任願いたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ 完成後には、皆さんにお配りするので御承知願う。
- ・ その他本件について各委員から御発言あるか。（なし）
- ・ 議題終結宣言

2 その他

○委員長（山口 勝彦）

- ・ 2のその他だが、各委員から何か御発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午後2時35分散会